

## 金及び銀原料に関するサプライチェーン方針

三井金属グループが実施する金及び銀原料の調達に関連し、

- ・組織的で広範囲な人権侵害への加担
- ・紛争への資金供与
- ・マネーロンダリング
- ・賄賂および金、銀原産国の不正な虚偽表示
- ・テロリストへの資金提供
- ・不正取引

などに係る調達を回避すると共に、環境および持続可能性に係る責任に取り組み、金及び銀原料調達の管理を推進します。

### 1、管理体制の構築

金及び銀原料のサプライチェーン・トレサビリティシステムを実施するための体制を構築し、サプライチェーン責任者およびコンプライアンス責任者を選任し、責任、権限を明確にして、金及び銀原料の責任ある調達管理を推進します。

### 2、教育訓練の実施

金、及び銀原料調達に係る全ての従業員のための教育・訓練を継続的に計画し実施します。

### 3、サプライチェーン・デューデリジェンス評価

三井金属グループが London Bullion Market Association (LBMA) の Responsible Gold Guidance、及び Responsible Silver Guidance の要求事項に対応したプロセスに従って金及び銀原料の調達活動を実施します。購入した金及び銀原料のサプライチェーン・デューデリジェンスを継続的に実施し、サプライチェーンの全体像を把握し、効果的にリスク評価を行います。

### 4、取引のモニタリングと記録

サプライチェーン及びリスクプロファイルに関し、知り得た情報と実際の取引との整合性を確認し、その記録を適切に保管管理します。

#### **5、特定されたリスクへの対応**

リスク評価の結果、高リスクと判断した場合は、リスク緩和を図り、リスク緩和が図れない場合は、サプライチェーン責任者が原料購入の即時停止を決定します。

#### **6、コミュニケーション**

全ての従業員又は外部のステークホルダーが金及び銀原料のサプライチェーンや新たに確認されたリスクに関する懸念事項について匿名で発言できる仕組みを構築し、推進します。

#### **7、第三者監査の実施**

LBMA が定める監査ガイダンスに準拠して実施される第三者機関による監査を受審し、第三者保証を毎年取得し、その監査結果を LBMA に報告します。

2019年10月  
三井金属鉱業株式会社